

めざす子ども像

自信をもち何事にも挑戦する**園児・児童・生徒の育成**

取組目標

「地域力によって育成する心豊かな子ども」**【今年度の取組紹介】**

・＜歴史ウォーク＞11月3日（祝）に、朱雀を出発し木津をめざしました。木の津と大和路の文化と歴史のつながりを学ぶために、当日は木津観光ボランティアガイドの方々のお話を聞きながら、楽しくウォーキングをしました。参加者は約70人にのぼり、郷土への愛着が育まれました。

・＜平城高校生と遊ぼう！＞1月27日（日）に北部会館で実施しました。本年度で5回目を迎えたイベントは、平城高校をはじめ、中学校・こども園・小学校の発表もあり、イベントは大いに盛り上がりました。幼児から高齢者まで600人以上の参加がありました。

地域の交流もでき、子から子へ残していきたい地域のイベントになってきました。

・＜図書室開放＞本年度も沢山の方に訪れていただきました。

**【今年度のまとめ】**

＜歴史ウォーク＞70人の参加がありました。当日は朱雀自主防災防犯協議会の協力を得て、安全面にも配慮し秋空の下、奈良の歴史や、すばらしさを実感するという結果になりました。

＜平城高校生と遊ぼう！＞小学生・中学生の発表があり、参加者は600人を数えました。幼児から高齢者まで楽しめるもので、今年は、ステージ発表も内容を工夫し、お茶会も整理券制にすることでスムーズに運営することができました。

**【来年度に向けて】**

来年度「歴史ウォーク」については、行く方面や内容を工夫していきながら継続していく必要があります。また、「平城高校生と遊ぼう！」については、高校再編等のこともあり、今後どのように連携していきながら存続していくかを模索しながら進めていく必要があります。また、「図書室解放」を含めた新しいコーディネーターや図書ボランティアの方々の発掘が急務と思われます。

めざす子ども像

自信をもち何事にも挑戦する**園児・児童・生徒の育成**

取組目標

「知ろう、地域のすばらしさ！」**本物に触れる感動を子どもたちに！」****【今年度の取組紹介】**

「地域に開かれた文化発表会・体育大会」では、地域と学校の取組を地域に発信する機会としました。体育館での各学年のステージ発表1年、2年は合唱3年は沖縄を舞台とした学年劇を発表しました。各教室では科学部の実験や文芸部の作品展示や学年・教科の展示発表を行いました。体育大会では3年生をリーダーとして生徒全員が一致団結をして行うことができました。

「本物に学ぶ 講師招聘事業」では、性教育講演会、マナー講習会、平和学習講演会等を行いました。お箏の演奏鑑賞及び体験も行い、講師の方を招いて本物に触れることができました。

「地域防災訓練・クリーン作戦」では各校区の防災訓練に参加し、地域の一員として何ができるのかなど貴重な体験ができた。クリーン作戦では、校区内のゴミ集め・清掃活動を行いました。

**【今年度のまとめ】**

平城東中学校運営委員会の取組の目標である「知ろう、地域のすばらしさ！本物に触れる感動を子どもたちに」の実現に向けた取組を工夫しながら行うことができました。

「地域と歩む文化発表会・体育大会」「本物に学ぶ 講師招聘事業」「クリーン大作戦・防災活動」など、様々な取組の中において、地域の活動に参加することによって、地域の一員としての自覚やふれあいを感じることができました。特に、今年度より参加した地域の防災訓練は、地域の方にも高評価をいただきました。地域に学ぶ活動の第一歩となり次年度以降につながるとしています。

【来年度に向けて】

地域の活動に参加する生徒の数も増えてきており、地域に学ぶ活動も定着しつつあります。しかし、まだまだ積極性に欠けるところもあり課題が多いので、広報や参加しやすい環境を作っていく必要性があります。

めざす子ども像

自信をもち何事にも挑戦する園児・児童・生徒の育成

取組目標

地域の方々に支えられていることを実感しながら、児童が主体的に学ぶことができるための環境整備と取組の充実。

【今年度の取組紹介】

（１） 学習支援事業「楽しい理科実験教室」

「楽しい理科実験教室」では、平城ニュータウン楽しい理科実験研究会のみなさんの協力を得て、活動しています。近年、子どもたちの「理科離れ」「理科嫌い」がしばしば指摘されますが、楽しい実験を通して「すごい！」「不思議！」「おもしろい！」といった経験を大事にして、理科大好きな子どもたちが育つように進めています。



（２） 学習支援事業「おはなしの会」

図書環境整備事業「図書ボランティア」

朱雀小学校の図書室は、いつも図書ボランティアのみなさんが作ってくださった季節の掲示物でいっぱいです。図書室が身近なものになるように、いつも気を配ってくださっています。また、低学年を中心に、朱雀おはなしの会のみなさんが、読み聞かせの活動を行ってくださり、読書好きな子どもたちを育てています。



【今年度のまとめ】

今年度の事業でも、子どもたちの学習活動や学校生活が地域のみなさんによって支えられて進めることができました。

特に、今年度は、上記した理科実験やおはなしの会、そのほかにも近畿大学農学部からの出前授業等、学習支援事業で、子どもたちが楽しく学んだり、学習に興味をもたせたりといった内容が、特に充実したように思います。

もちろん、環境整備事業においても、環境ボランティアのみなさんに、今年度の厳しい気象条件の中で、子どもたちが安全に学ぶ条件を整えてくださり、感謝しております。

【来年度に向けて】

来年度、さらに子どもたちが地域の中で生活していることが意識できることを進めるとともに、多様なかたちでの学びが進められるような事業・取組を進めていきたいと考えます。

めざす子ども像

自信をもち何事にも挑戦する園児・児童・生徒の育成

取組目標

る

学校・家庭・地域が一体となって子どもの教育にあたり、子どもたちが感動する

【今年度の取組紹介】

今年度も環境美化活動事業、地域に学ぶ体験学習事業、読書活動推進事業、ICT学習事業、人権・福祉学習事業等の取組を地域の方やゲストティーチャーの方の支援をいただきながら進めました。環境美化活動事業では、環境委員会が中心となり、花や野菜の栽培活動・運動場整備を行いました。花などの栽培に関する作業に汗を流し、稲やイモの栽培で収穫の喜びも体験することができました。

また、地域に学ぶ体験学習事業の一つとしてJR平城山電車区に協力いただき電車区内の美化運動に協力し、2年生が花の苗植えを行いました。ICT学習事業では、電子自治体アドバイザークラブの方々の協力で、全学年でICTを活用した学習を進めました。

読書活動推進事業では、ブックフェアを行うとともに、地域の図書ボランティアの方や北部図書館の司書さんの協力を得て図書室の環境作りを進めました。また、講師を招き、手話を通してのコミュニケーションや命の大切さを学び、相手を思いやる心やユニバーサルデザインについての考えを深めることができました。体力作り事業では朝のマラソン、長縄跳び、ボールを使った活動を行ってきました。



【今年度のまとめ】

学校・家庭・地域が一体となって子どもの成長の支援にあたり、子どもたちの体験活動を通して多くの事を学ばせました。さらに地域とのふれあいを支援し、地域の人材を活用しながら連携を深めました。この取組により、自分たちが住む地域に目を向け、自分たちの郷土を愛する子どもたちが育っているものと思われまます。様々な学習を通して、また、ふれあい学習や体験学習で、人との関わりや命の大切さを学びました。

【来年度に向けて】

多くの「人・もの・こと」が生活の中に関わっている大切なことであり、これからも「地域で育っていく心豊かな佐保台っ子」を意識させることができる貴重な学習や体験を継続的に進めていくことが、今後に大きな効果が表れてくるものと考えます。来年度も今までの活動を持続し、さらに活動内容を工夫しながら、発展させていきたいです。

めざす子ども像

自信をもち何事にも挑戦する園児・児童・生徒の育成

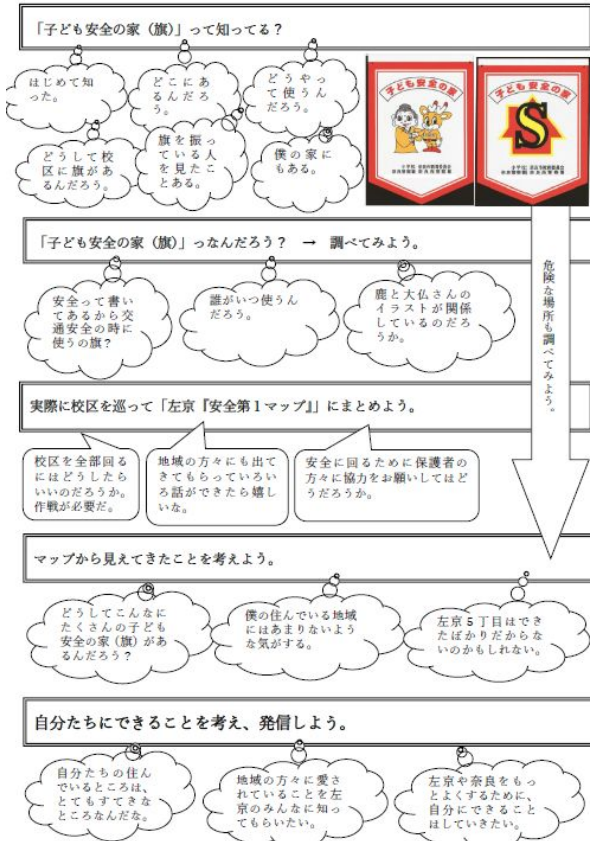
取組目標

子どもたちが地域を知り、地域の人達との繋がりを意識するとともに、豊かな感性や様々な知識・技術を身につけて成長していける取組の充実を目指す。

【今年度の取組紹介】

<子ども安全の家の学習>

5 単元の構想(全11時間)



【成果】

学習のはじめに「子ども安全の家とは何か」について児童に質問すると、「自分たちが不審者に出会ったときに避難するところ」だと話をしていた児童でしたが、地域の方々とのコミュニケーションやふれあいを大切に学習を行ったことで、地域の方の思いや願いに気付くことができました。その結果、「子ども安全の家とは何か」について最後に質問をすると、「地域の方々が僕たちが安全に左京で過ごすことができるようにするためのやさしい場所」だと答え、自分事から他人事、そしてそれらは繋がっていると考える児童が増えました。



【今年度のまとめ】

- ・ 学校での授業を拡充できる活動や、教職員だけでは取り組めない内容の活動を、地域の方を学校に招聘したり、地域へ出て行って行ったりして実施することができました。
- ・ 地域の大人の方々と接することによって、子どもたちのコミュニケーション能力、規範意識、防犯意識が高まりました。
- ・ コーディネーターや運営委員をはじめ、多くの保護者、地域のボランティア、社会福祉協議会、民生児童委員会等、様々な方々や団体の協力を得ることができました。

【来年度に向けて】

来年度も、基本的に今年度の事業の継続と充実を目指して取り組んでいきたいです。加えて、新しい事業や取組の企画について、地域の方々の声を生かしながら進めていきたいです。また、事業への参画や協力者が増えるように広報活動や啓発活動を活発に行いたいです。

めざす子ども像

自信をもち何事にも挑戦する園児・児童・生徒の育成

取組目標

地域と連携しながら心豊かで生き生きと活動する子どもを育てる。**【今年度の取組紹介】****◆ お話の会**

地域の読み聞かせのボランティアの皆さんにより、継続して行っている「お話の会」では、毎月実施したことで、期待をもちながら落ち着いてお話を聞く態度が身についてきています。また、絵本コーナーにその日読んでいただいた絵本を掲示することで、より興味をもって絵本を手にする幼児が増えてきています。また、絵本貸出を楽しみにする幼児も増え、お話が好きな子どもに育ってきていることが感じられます。

◆ おもしろ理科実験

地域の『平城NT楽しい理科実験研究会』の方々に来園していただき、今年度も『おもしろ理科実験教室』を実施しました。段ボール箱にスモークマシンで煙をため、実際に空気砲で空気体験をさせていただいたり、折り紙ロケットをつくって、ビニール袋にためた空気の力を使って遠くまで飛ばしたりして遊んだりし、身近なものを使っでの体験に改めて科学の不思議さやおもしろさに触れることができる貴重な体験となりました。

◆ 左京の森でのいも掘り体験

今年度も左京グリーンサポートの皆さんのお力をお借りし、サツマイモのつる植えから収穫までの貴重な体験をさせていただくことができました。共に活動してくださり、常に見守りお世話してくださることに親しみを感じるとともに、感謝の気持ちをもつことができました。

**【今年度のまとめ】**

- 計画的に継続して地域の方々とのかかわる機会をもってきたことで、地域の方々への親しみが増し子どもたちからは「楽しかった」「また、やってみたい」の声も聞かれ、交流の場に期待しながら参加し、次回を楽しみにする姿へとつながってきています。
- 地域の方々との心を動かす様々な体験の中で、温かい雰囲気や眼差し、言葉かけ等の優しさに触れ、人とかかわる心地よさや感謝の気持ちをもつことができました。

【来年度に向けて】

- 継続して地域の方々とのかかわることで、園児の経験や体験を広げることができ、親しみも深まっていくので、来年度も継続して事業を進めていきたいと考えています。
- 地域の教育力を最大限に活かせるように情報収集に努め、無理のないよう保育に取り入れながら園児の豊かな経験につながるようにし、地域に根ざしたこども園を目指していきたいと思ひます。

めざす子ども像

自信をもち何事にも挑戦する園児・児童・生徒の育成

取組目標

地域とのつながりを大切にし、地域の方々やコーディネーターとの連携を図り、子どもの心を動かせるような、感動体験ができるようにする。**【今年度の取組紹介】**

継続して行っている朱雀お話の会では、地域の方が絵本や紙芝居、パネルシアター、わらべうたあそび、手遊びなど毎回工夫されたプログラムを2～5歳児の子どもたちを対象に読み聞かせをしてくださいました。このお話の会は、幼稚園・保育園ともに行っていた活動で2歳児が楽しみにしているということもあり2歳児、3歳児、4・5歳児と3部構成で行っていただきました。毎回魅力あるお話の世界に引き込まれながら、わくわく・ドキドキ感動いっぱい、笑顔いっぱい楽しんでいました。子どもたちの真剣にお話を見る姿からお話が好きな子どもに育っていることを感じています。また地域の方に「楽しかったよ」「ありがとう」と親しみや感謝の気持ちを表現していました。



地域の教育力を生かし、地域の「平城 NT 楽しい理科実験研究会」の方々に来ていただき、“大空気砲”をしていただきました。段ボールから出てくる白い煙に「すごい、丸い輪がでてきた」「風が顔に当たったよ」「どうして？なぜ？」と科学の驚きや不思議さを感じていました。子どもだけでもできる科学遊び“ひもの手品”“折り紙ロケット”も年齢別に教えていただき、それを家庭に持ち帰って、家族で楽しむこともできました。また子どもたちがわかるように科学の楽しさを折り紙や身近な素材を使ってわかりやすく話していただき心揺さぶられる感動体験となりました。

**【今年度のまとめ】**

ゲストティーチャーを招いての事業では、遊びの中から楽しく自然に専門的な知識を身に付けることができました。また、環境ボランティアさんや地域の方との触れ合い、高齢者の方との交流では、子どもたちの心が豊かになり、優しい心、思いやりの心、感動する心が育まれました。地域の方から「園児が増えて活気があっていいですね」「子どもたちの笑顔や言葉に元気をもらいました」という嬉しい声をいただき、地域とのつながりを感じました。

【来年度に向けて】

今年度の事業をさらに充実し、自信をもち何事にも挑戦する園児を目指して、来年度も園・地域・保護者が一体となって互いに協力し合い、連携を密にし、継続して事業を進めていきたいと思います。さらに各取組で学んだことや感動が日々の子どもの遊びにつながっていくよう工夫していきたいと考えます。